

南阿蘇産ハーブを
世界に広げるプロジェクト

×

今後の取り組みと
22世紀を見据えた目標

株式会社クマモト敬和

株式会社クマモト敬和とは



1次 × 2次 × 3次 = 6次産業化

ハーブ生産

加工・製造

販売・卸売

グループ会社でサプライチェーン(6次化)を構築しています

株式会社 南阿蘇農園とは

- 国産ハーブ生産量は**国内トップ**です
- サプライチェーンの1次～2次を担っています
- 有機JAS認定圃場、熊本県版GAP認定の工場です



「南阿蘇産100%ハーブ」シリーズ

2022年1月27日開催



登壇いたしました！ありがとうございます！

南阿蘇産ハーブを 世界に広げるプロジェクト

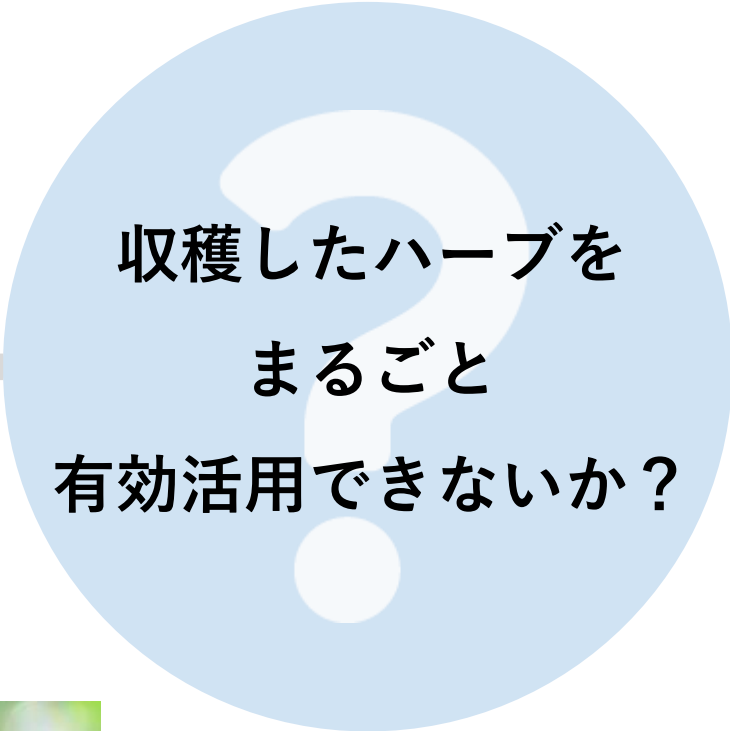
クマモト敬和にできるコト

×

UXプロジェクトにもとめるコト



南阿蘇産有機ハーブの
パワーを伝えたい！



収穫したハーブを
まるごと
有効活用できないか？



私たちの答えは…

ハーブのパワー凝縮してみました！



ハーブエキスは

様々な分野での利活用が可能です



香り



飲料



空調



料理

美容



成果報告



UX Farmer's Pitch

登壇後 . . .

ACRO

とぎすまされた感性で、
「時代の美」を創る。

THREE



THREE
HOLISTIC
RESEARCH
CENTER



T+HRC
HOLISTIC RESEARCH CENTER



精油などの植物の恵みがもたらすホリスティックな効果の研究、
独自原料の開発など新たな価値創造を目指す



精油の個性に光を当てて。
無限に広がる可能性をここから。

HRCの研究で特に重点をおいているのが「個性を創る」こと。

科学的の力で、効果効能はどう違うのか。個性を際立たせることができます。

これまで焦点を当てることができていなかった、一つ一つの違いを、個性を待たせることで、価値の最大化を図っています。

これからの時代の
自然なるバランスを、科学の力で。

精油をはじめとする
自然の恵みを科学の力で解き明かし
現代を美しくしなやかに生きるエネルギーへ。



オファーを頂戴した企業様と アライアンス契約が実現しました

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | ス

THREEが、株式会社クマモト敬和と熊本県UXプロジェクトにて化粧原料開発をスタート。

株式会社ACRO

🕒 2022年10月24日 15時00分



ポーラ・オルビスグループの株式会社ACRO（本社：東京都品川区、社長：宮崎稔章）は、株式会社クマモト敬和（本社：熊本県熊本市、社長：宮野敬之）と熊本県が推進するUXプロジェクトの下、地域の第三の産業確立と地域雇用を目的として10月1日より化粧品原料の共同開発をスタートさせました。

本取り組みは、株式会社ACROのライフスタイルコスメブランドであるTHREEにおいて新たな付加価値として今後の商品に活用される予定です。



左から(株)ACRO・(株)クマモト敬和・南阿蘇村農政課・熊本県産業支援課（UXプロジェクト推進班）

記事引用元／PR TIMES

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000074010.html>

化粧品原料の共同開発

ACRO

業界第一線にある

化粧品研究技術



クマモト敬和

自社農園ハーブの

質と価値の追求

ACRO  クマモト敬和

自然・資源・特性を活かす

地域産業と雇用の創出

地方創生に挑みます

10年計画

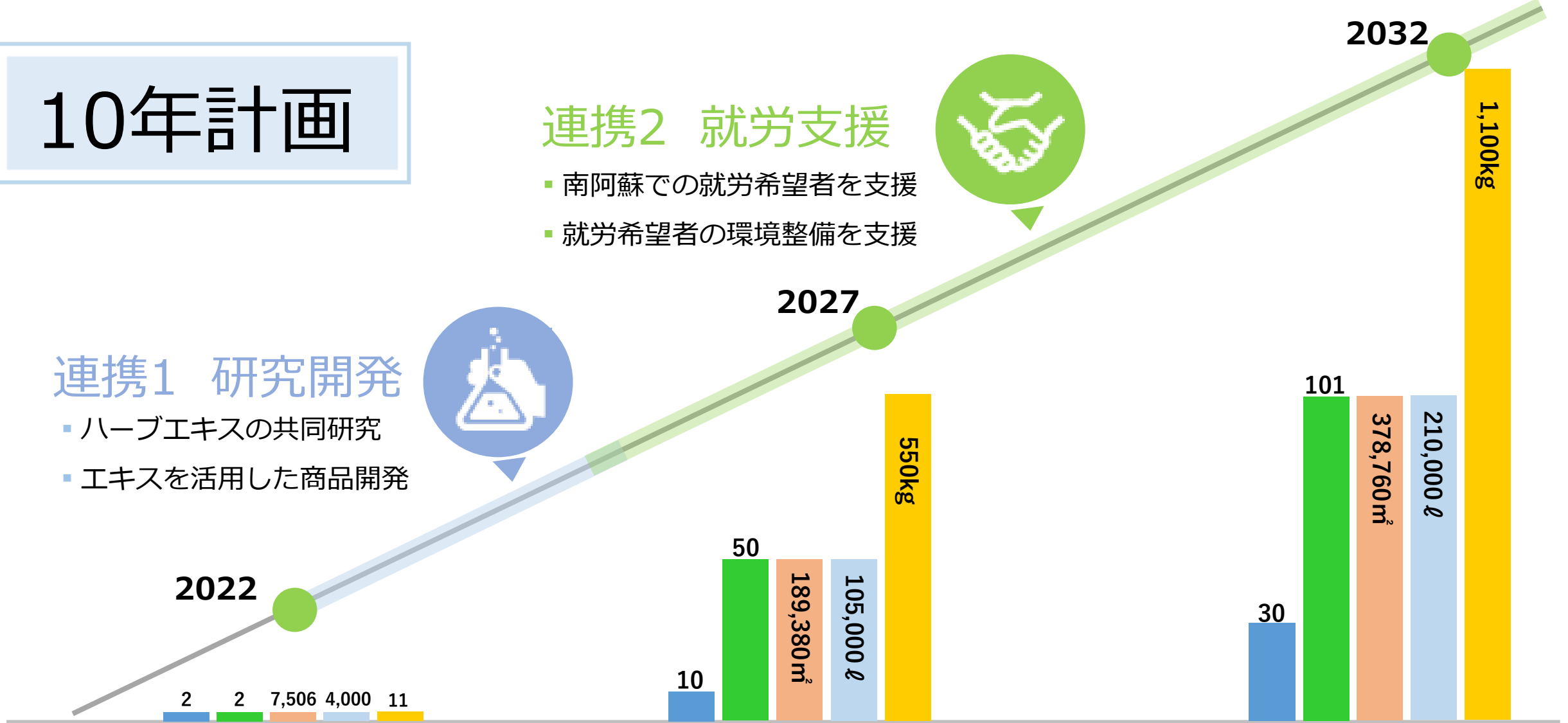
連携1 研究開発

- ハーブエキスの共同研究
- エキスを活用した商品開発



連携2 就労支援

- 南阿蘇での就労希望者を支援
- 就労希望者の環境整備を支援



- 加工従事者(人)
- 農業従事者(人)
- 耕作面積(m²)
- 芳香蒸留水(ℓ)
- アクロオイル(kg)

※棒グラフは、基準時点(2022年)を【1】とした5年ごとの伸び率を表しています。

※連携1…ハーブの効能効果を裏付ける実証データの取得が重要。
そのデータを活かし幅広い分野への進出を狙い、新たな需要を掘り起こす。

※連携2…連携1を経て新規事業が進行すれば、ハーブ生産量の増加は必至である。
生産量増加を実現するためにも南阿蘇のPRおよび就労・就農希望者の支援が必要。

ハーブ栽培の説明会・見学会を実施

今回は南阿蘇村の沢津野区
「早角会」の方々に
ご参加いただきました



ハーブ栽培受託説明会



ハーブ園の見学会



一般社団法人 南阿蘇村農業みらい公社

新規就農者育成事業

南阿蘇村で農業をしたいという就農希望者を「地域おこし協力隊」として迎え、2年間農業公社で管理する農地での作物生産や、農家での研修を通じて知識や技術を身につけ3年目以降は独立を目指します。

農業公社での研修は、米、麦、大豆、雑穀、露地野菜などが中心となります。

施設園芸を希望する方には、農業次世代人材投資事業の準備型を受給しながら南阿蘇村農業研修生受入協議会の先進農家での研修をお勧めします。



令和4年3月採用の地域おこし協力隊

しかし課題は

山積み

やまづみ

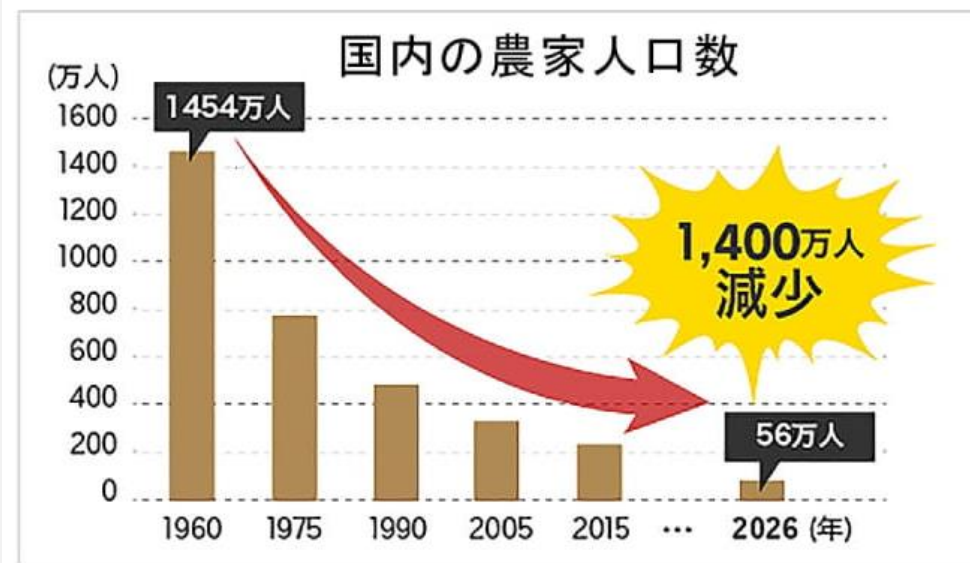
課題

- 生産面積の確保
- 就農者の確保
- 当プロジェクトの資金調達
- 地域住民の理解・協力

【グラフ/引用元：楽天ファーム】

※農林水産省の年齢別農業就業人口を参照

※2026年のデータは70歳で引退するとして算出



今後、必要な支援・提携先

▶ 大学・研究機関との連携

- ハーブ栽培の研究
- ハーブエキスの研究
- 南阿蘇産ハーブの優位性分析研究

▶ 食品衛生法をクリアする

- ハーブエキスの食品利用研究

▶ 臨床試験

- ハーブオイル、ハーブエキスの効能・効果



大学・研究機関からの
ご連絡を
お待ちしております！



「ハーブと暮らす生活」を世界へ発信する、南阿蘇発・地域循環型リゾート施設 サステナブルツーリズム*の拠点として、南阿蘇、そして熊本の持続可能な発展に貢献します

*サステナブルツーリズム：旅行先の地域文化と環境の保全を両立に考えた「持続可能な観光」を意味する。観光客が一方的に旅行先のコンテンツを消費するだけでなく、そこに住む地域の人々の生活も豊かになるように考えられた旅全般のこと。
(参考：IDEAS FOR GOODホームページ)

人口増

- ・Uターン移住者・就労者の呼び込み
- ・就農者の増加

南阿蘇の発信力増

- ・南阿蘇産ハーブの発信
- ・南阿蘇産品の販売・PR



来訪者増

- ・観光客の誘因
- ・社会化見学・修学旅行 学びの目的地

地域交流増

- ・サーキュラーエコノミーの拠点
- ・ウェルビーイングな暮らし提案

※構想イメージの為、実際と異なる場合があります。

30ha以上の広大な敷地にハーブ畑と、蒸留所・ハーブ体験施設・ショップを設け、
地域住民との交流、地域資源の活用を大切にしながら、南阿蘇の魅力を発信します



※構想イメージの為、実際と異なる場合があります。

ハーブ農園&蒸留所ゾーン

観光農園の目玉となる大規模ハーブ農園（約30ha）と、摘みたてハーブを加工する蒸留所（約200坪）。農園や蒸留所の見学ツアーはもちろん、蒸留所では自分だけの香りや雑貨を手作りできるイベントなども定期開催しながら、時間消費型の体験機能施設（約150坪）も導入。「ハーブのある暮らし」を提案する。

イメージ



貸し農園ゾーン

農作業をしたい住民へ小規模に小分けした畑を貸し出す。貸し農園ゾーンを整備。「野菜栽培をしてみたいけど場所がない」「まずは趣味で少しずつ始めたい」そんな願いを叶えるエリアで、専門スタッフがアドバイザーとしてしっかりとサポート。季節野菜の農作業体験イベントも開催しながら地域との繋がりを育む。

イメージ



※構想イメージの為、実際と異なる場合があります。

22世紀を見据えた目標

持続可能な就農スタイルの確立

就農者の幸福度アップ

就農者・定住者の増加

南阿蘇村の活性化

子ども達へ資産を伝承する



ご清聴いただき
ありがとうございました

